



# 平成24年度 おもてなし経営企業選



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry



# 「再生・リサイクル業」で循環型社会と障がい者雇用に貢献する

## おもてなし経営のポイント

- ❖ 「環境負荷の低減」や「障がい者の雇用」が日常レベルに行なわれている
- ❖ 社長自身が積極的に学び、全社員にも学ぶ機会を多様に提供している

### 経営理念と企業文化

#### 人の特性を活かす まだ使えるものを活かす

日本ウエストン株式会社では「活かす」というシンプルな経営理念のもと、資源リサイクル活動を行なっている。工場などで用いられる清掃用の布(ウエス)や軍手、フィルターなどを洗浄して再利用する事業を中心に、「お客さまのお困りごとを解決するビジネス」として、さまざまな企業のバックヤードを支えている。産業用ウエスは消耗品として使い捨てられることが多いが、再利用することによって、産業廃棄物の量と、焼却処分の際に

出ている二酸化炭素量が同時に削減されるのだ。

また、洗浄時に出る廃水は、微生物による廃水処理システムを導入し、再生処理水として再利用している。排水汚泥についてもゼロを目指したオペレーションが行なわれており、処理後、コンクリートの原料として再利用されている。

このような「循環型社会の形成」に貢献するとともに、代表取締役社長の白井麻紗杜氏が理事長を務める社会福祉法人清穂会に業務の一部を委託することで、約100人の安定的な「障がい者雇用」が行なわれている。

取引先企業からすると、使用済みウエスなどの洗浄リサイクルを委託す

ることで、自社の廃棄物処理コストを削減できるだけでなく、間接的に環境負荷の低減や障がい者雇用に貢献できるわけだ。

このような高付加価値な取り組みが評価され、同社は他社より高単価であるにもかかわらず、顧客から喜ばれている。それは社員の誇りでもある。

### 社員の意欲・能力向上

#### 社員にはできるだけ多くの「学ぶ機会」を提供する

白井氏は、社員に対して学ぶ機会を積極的に提供している。たとえば、全社員が、年次・月次・週次・日次



社内勉強会の風景：ベンチマークしている優良企業や外部講演のVTRを観賞し、「気づき」の共有を行なう。



「第2回日本でいちばん大切にしたい会社 中小企業庁長官賞」を受賞。「これからも緑の下の力持ちとして、お客さまからの期待を超えるサービスを社員一同挑戦していきたい」と、白井清三会長。





の行動計画を記入するノートを活用しており、適宜、目標を明確に捉えている。同時に、「仕事の仕方」や「時間の使い方」など、習慣的なスキルも磨いている。

社内勉強会では優良企業のVTRを観賞し、「気づき」の共有を行なう。また、昼休みの1時間を使ったスポーツバーベキューを毎月開催している。これは呼び名、内容とも、都田建設(p53)の取り組みを参考にしたもので、全社員が協力し合うバーベキューは、段取りや協調の重要性を再認識し、知識だけではなく、「考え方」を身に付ける場となっている。

勉強熱心な白井氏は、多くの書籍やセミナーからさまざまなことを学んできた。同社が社外研修の活用にも前向きなのもこうしたトップの考えによる。白井氏は、日々感じたことやセミナーなどで学んだことを、毎日ブログ(※)で社員に発信している。これに対して多くの社員が「学べるのが、意欲向

上にもつながっている。社長が、学んだことを独り占めせず、私たちにも教えてくれることがうれしい」と言う。

#### 地域・社会との関わり

### 障がい者に働きがいを与える優しい会

同社の関連会社である社会福祉法人清穂会では、クリーニング前後のウエスや軍手の仕分け業務などを障がい者が担っている。また日本ウエストーンでは、商談や見学で来社した人へのおもてなしとして、来客の名前入りのうちわなど、さまざまなサプライズプレゼントを渡しているが、相応のスキルが必要とされるこのようなプレゼントづくりも、すべて障がい者が担う。

「健常者が1人でできることを、障がい者2~3人で行なえるのではないか」。柔軟な考えは、安定した多くの仕事を生んだ。加えて、「働かずに

生活保護を受けるよりも、働くことでより高い収入を得られるようにしたい」との思いから、一定額以上の給与を支払えるよう取り組みが進んでいる。苦労は伴うが、障がい者の働きがいと、円滑な社会参加に向けたバックアップは今後も続いていく。

写真【1】：生産工程や品質管理の光景。商品の製造環境および商品の品質は、業界ダントツを宣言している。ライバルをあえて挙げるなら、「それはお客様の期待と要求だ」としている。

写真【2】：廃水処理施設は微生物を扱うため、専門家の手によって運用されている。

写真【3】：トイレ掃除は気づきの場。掃除当番は社員の立候補で決められ、便器も素手で清掃する。

写真【4】：スポーツバーベキューは、環境整備の日の昼食時間、1時間を利用して行なわれる。事前の役割分担はなく、その場で各自が役割を考え、作業する。

(※)白井麻紗社氏のブログ

<http://westonco.cocolog-nifty.com/blog/>

## 会社概要

- ・法人名：日本ウエストーン株式会社
- ・代表者：白井 麻紗社 代表取締役社長
- ・所在地：岐阜県岐阜市柳津町高桑1-48
- ・設立年月：1970年12月設立

- ・事業内容：産業用ウエスのレンタル・リース及びクリーニング業
- ・社員数：正規28名
- ・ホームページ：<http://www.weston.co.jp/>